



せい しん つう しん
聖 心 通 信

札幌聖心女子学院

校長 齊藤 隆浩

第12号 2022年2月28日

〒064-8540 札幌市中央区宮の森2条16丁目10番1号
 URL <https://spr-sacred-heart.ed.jp/>

TEL 011-611-9231 / 011-676-7667(職員室直通)
 FAX 011-612-0980

今年は3月2日(水)から四旬節に入り、4月17日(日)に復活祭を迎えます。イエス・キリストの受難と死を思い、ともに復活の喜びにあずかるべく、自分をふりかえって心の準備をする期間です。人々の救いのために自らをささげたキリストに導かれて、私たちも互いに助け合い、キリストのメッセージを伝えていく存在となることが出来ますように。

新型コロナウイルスの影響で落ち着かない状況が続いていますが、新年度を迎えるにあたって、一日一日を大切に過ごしていきましょう。

Congratulations!!

- ◎ 第59回 全国中学校スキー大会アルペン競技
 女子スラローム (SL)
 第8位 中2-1 石丸 り子さん
 (※来年度大会の特枠シード権獲得！)
- ◎ 第40回 札幌市中体連スキー新人戦大会
 第5位
 第44回宮様ジュニア・アルペン競技会
 第12位
 中1-1 内海 玲依羅さん
 (※来年度大会の特枠シード権獲得！)
- ◎ 第20回 日本ジュニア数学オリンピック予選
 北海道・東北地区表彰者 (成績上位約1割)
 中2-1 都筑 暖和さん
- ◎ 第5回札幌ジュニアスノーボード競技(ハーフパイプ)
 第8位 高1-S 西 桃奈さん
- ◎ 第26回北海道スキー選手権大会(スノーボード競技)
 第7位 高1-S 西 桃奈さん
- ◎ 第25回 Jr ジャイアントスラローム大会(アルペンスキー競技)
 優勝 中1-1 内海 玲依羅さん
- ◎ 2022 ぬかびら源泉郷ユース SG/GS 競技大会
 スーパー大回転 (SG)
 第4位 中2-1 石丸 り子さん
 大回転 (GS)
 準優勝 中2-1 石丸 り子さん
 第27位 中1-1 内海 玲依羅さん
- ◎ 山口学芸大学主催 第2回デザインコンペ2021
 テーマポスター部門 (SDGs ゴールをテーマにしたデジタル作品)
 入選 高1-G 原田 安珠さん



3月の予定



	行事	お弁当
1(火)	オンライン授業(～3/5) 全校朝礼オンライン	
2(水)	灰の水曜日	
3(木)		
4(金)		
5(土)		
6(日)		
7(月)	学年末考査①	※
8(火)	学年末考査②	※
9(水)	学年末考査③	※
10(木)	学年末考査④ 中1 プログラミング授業 中3 裁判所訪問 高1 高等聾学校との交流会オンライン(13:00～) 高3 卒業式③(13:30～)	※
11(金)	考査返却①(1科目20分ずつ)	不要
12(土)	考査返却②(1科目20分ずつ)	不要
13(日)		
14(月)	得点通知 個人票確認(朝SHR) 中1・中2・高1・高2 進路ワークショップ 中3 卒業式練習	不要
15(火)	生徒家庭学習	
16(水)	大掃除 写真撮影 中学卒業研究発表会 中3 卒業式練習	不要
17(木)	中学卒業式(10:00～、札幌ガーデンパレス) 中1・中2・高1・高2 家庭学習	不要
18(金)	中高終業式オンライン 通知票手渡し 帰省日	不要
19(土)	春季休業(～4/6)	
20(日)		
21(月)	春分の日	
22(火)		
23(水)		
24(木)		
25(金)		
26(土)	母の会 新旧役員引き継ぎ・打ち合わせ	
～春季休業～		

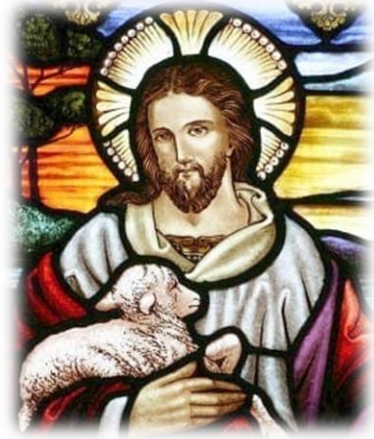
※ 必要な方は昼食をご用意ください。

行事予定は暫定のもので、変更がある場合には一斉メールでお知らせいたします。

4月6日(水) 入舎式(午後)
 4月7日(木) 始業式(9:00～)
 入学式(高1、13:00集合)

今月の聖句

あなたがたを襲った試練で、
人間として耐えられないようなものは
なかったはずです。
神は真実な方です。



あなたがたを耐えられないような試練に遭わせることはなさらず、
試練と共に、それに耐えられるよう、
逃れる道をも備えていただきます。

コリントの信徒への手紙一 第10章13節

この聖句は、これまで歩んできた中で、私を支え、助けてくれた大切な言葉です。色々な困難やつらいことに直面しているときに、ふっとこの言葉を思い浮かべると、「神様がそばにいてくださる。だから乗り越えられないはずがない。きっと解決の糸口が供えられている。それを見つけて出し、がんばらねば」との思いが湧いてくるのです。

今まさに私たちの世界は、未曾有のパンデミック、コロナ禍の試練のまっただ中にいます。こんな時だからこそ、この言葉を思い起こすことで、救われる気持ちになり、希望を与えられます。

今から200年以上前、聖フィリピン・デュシェーンは、フランスからアメリカ大陸にわたり、多くの様々な困難や失敗に遭遇しながらも、「勇気と情熱、信念と不屈の精神」で乗り越え、聖心の学校を開いていきました。私たちは、祈りに多くの時間を過ごし、「いつも祈っている婦人」と呼ばれ、慕われていた聖フィリピンから、何よりも祈ることの大切さを教えられています。

コロナ禍の中にあっても、元気に中学生を送った中学3年生が卒業の時を迎えます。様々なことのある今学年度の最後に、それぞれの学年の一人ひとりのために祈るとき、この聖句が浮かびます。聖フィリピン・デュシェーンがそうであったように、これからどんな試練にあっても「神様は必ず乗り越える道を用意してくださっている」と信じ、将来に向かって漕ぎ出し、進んでいけますようにと願います。

[校長 齊藤隆浩]